

2024 年度事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

2024 年度 事業報告書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

1 博覧会の開催に向けた事業の実施

I 認知拡大・機運醸成に関する事業の実施

(1) 多様なメディアを活用した取組

- ・「GREEN×EXPO 2027 開催 1000 日前記者発表会」において、公式マスコットキャラクターの名前発表を行うとともに、市民参加のキックオフとして、個人、団体、教育機関等で活動されている皆様にも広くご使用いただける応援メッセージ付き公式ロゴマークの発表を行いました。
あわせて、横浜市と連携し「GREEN×EXPO 2027 開催 1000 日前イベント」を開催し、ワークショップやステージイベント、展示など多彩なプログラムを実施しました。(6 月)
- ・GREEN×EXPO 2027 に参画する出展内定者を発表する「GREEN×EXPO 2027 第一次内定者発表会」(10 月) 及び出展内定者を対象とした「内定者向け説明会」(11 月) をメディア露出の機会として活用し、情報発信を行いました。
- ・「GREEN×EXPO 2027 開催 2 年前記者発表会」において、会場の主要施設であるテーマ館などの展示計画を含む最新の会場計画のほか、Village 出展、花・緑出展、テーマ営業出店の新たな内定者を発表しました。(3 月)
- ・公式ホームページを 6 月にリニューアルし、公式 SNS と連携しながら、開催準備に向けた取組などの最新情報の積極的な発信を行いました。
- ・農園芸業界専門誌や一般誌等のメディア媒体の読者への認知度向上を図るべく、広告出稿・記事掲載を行いました。

【主な機関紙・会報誌名等】【発行元】(寄稿順)

機関紙・会報誌名等	発行元
GREENAGE	一般財団法人 日本緑化センター
園芸文化	公益社団法人 園芸文化協会
緑化通信	一般社団法人 日本植木協会
みどり	公益社団法人 横浜市緑の協会
公園緑地	一般社団法人 日本公園緑地協会
花キューピットだより	一般社団法人 JFTD
造園連新聞	一般社団法人 日本造園組合連合会
JHTS ニュースレター	NPO 法人 日本園芸療法研修会

都市公園	公益財団法人 東京都公園協会
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社
種苗界	一般社団法人 日本種苗協会
全植検協通報	一般社団法人 全国植物検疫協会
JFTD だより	一般社団法人 JFTD
JFMA ニュース	日本フローラルマーケティング協会
横造協だより	一般社団法人 横浜市造園協会
日刊建設通信新聞	株式会社 日刊建設通信新聞社
造園修景	一般社団法人 日本造園修景協会
公園緑地	一般社団法人 日本公園緑地協会
GA コミュニケーション	公益社団法人 日本家庭園芸普及協会
Discover Japan	(株)ディスカパージャパン
いま振り返る！万博の思い出	株式会社 宝島社
横浜商工季報	横浜商工会議所
園芸文化協会 創立 80 周年記念寄稿集	公益社団法人 園芸文化協会
家庭園芸	株式会社 サカタのタネ
ビタミンママ	株式会社 VM
横浜 LOVE Walker	角川アスキー総合研究所
るるぶ まちという神奈川	JTB パブリッシング
The Japan times SUSTAINABLE JAPAN MAGAZINE	株式会社 ジャパン タイムズ

(2) 多様な主体の参画による取組

- ・国内で開催される関連イベント等の機会を活用したプロモーションを行いました。
- ・開催意義の理解促進や来場者の増加、ブランド価値の向上を目的として、統一的なビジュアル・アイデンティティ (VI) を策定し、横浜市と連携しながら「開催 1000 日前」や「開催 2 年前」にあわせた街なか装飾、交通機関のラッピングなどを実施しました。(6 月、3 月)
- ・機運醸成を目的とした交通広告の協賛プロジェクトの募集を開始し、交通事業者と連携しながら、公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」をデザインに使用した駅構内や車両等のラッピングを実施しました。(3 月)
- ・「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア」に参加し、神奈川県立吉田島高等学校をはじめ多様な人々との協働により、モニュメントと、花壇による PR 作品を展示しました。また、神奈川県立の 5 つの農業高校による「GREEN LEADERSHIP CLUB」の活動として、庭園出展を行いました。(10 月)
- ・公式ロゴマークや公式マスコットキャラクターなどを使用した各種商品の企画・製造・販売に向けて、当協会の知的財産を活用したライセンス事業を推進する「2027 年国際園芸博覧会マスターライセンスオフィス (2027ML0)」を開設しました。(12 月) また、初のオフィシャルストアをオープンし、公式ライセンス商品の販売を開始しました。(3 月)

- ・多様な主体と連携したシンポジウム等として、(一社)ポートランド日本庭園、ジャパンインスティテュート及び東京大学と連携したフォーラムを開催しました。(5月)また、(公財)国際花と緑の博覧会記念協会と連携し、シンポジウムを開催しました。(3月)
- ・ボランティアの募集・研修・活動等に関する計画を策定しました。

【2024 年度の主な出展イベント】

イベント名	開催期間	開催場所
横浜フラワー&ガーデンフェスティバル	5月3日～6日	横浜市(パシフィコ横浜)
浜名湖花博 2024 ステージイベント	5月11日	静岡県浜松市
ハマフェス Y165	5月25日～26日	横浜市(山下公園)
横浜開港祭	6月1日～2日	横浜市(臨港パーク)
日本造園学会全国大会	6月14日～16日	愛知県名古屋市
サマーコンファレンス 2024	7月20日	横浜市(パシフィコ横浜)
ホストタウンフェスティバル 2024	8月26日	東京都港区
都市緑化キャンペーン 2024	10月4日	東京都千代田区
新横浜パフォーマンス	10月5日～6日	横浜市(新横浜駅前広場)
ワールドフェスタ・ヨコハマ	10月12日～13日	横浜市(山下公園)
アジア・スマートシティ会議	10月23日～24日	横浜市(パシフィコ横浜)
日比谷公園ガーデニングショー2024	10月24日～27日	東京都千代田区
第41回全国都市緑化かわさきフェア	10月19日～11月17日	川崎市
グリーンインフラ産業展 2025	1月29日～31日	東京都江東区
Flower Fes 2025	3月22日～23日	横浜市(旧上瀬谷通信施設跡地)

II 各分野の事業の実施

(1) 公式参加者招請活動・支援及び国際園芸家協会（以下「AIPH」という。）・博覧会国際事務局（以下「BIE」という。）との調整

ア 外国政府・国際機関への参加招請活動

- ・2027年国際園芸博覧会政府委員を始めとする日本政府（在外公館含む）や開催地自治体と連携し、相手国・国際機関の意思決定者や駐日大使等への働きかけを行いました。二国間会談や国際会議等の機会をとらえるとともに、駐日外交団向けの説明会や現地視察会を実施しました。

イ 公式参加者（参加を表明した外国政府・国際機関）への支援

- ・公式参加者が円滑に出展準備を行うことができるよう、説明会や現地視察会を始め、様々なルートを通じて情報提供を行うとともに、支援体制の構築を進めました。

ウ AIPH 及び BIE との調整

- ・AIPH 及び BIE と A 1 クラスの国際園芸博覧会の開催に必要な連絡調整を行いました。

(ア) AIPH 及び BIE の要件等に基づく特別規則や計画等の検討

- ・特別規則第4号（建設）、第5号（機械・設備）、第7号（輸送・通関）及び第10号（一般サービス）が6月のBIE総会、第9号（営業）が11月のBIE総会で承認されました。
- ・特別規則第7号（輸送・通関）に係る植物検疫のガイドライン、第4号（建設）に係るガイドラインを公表しました。

(イ) AIPH 及び BIE への主な進捗報告等

2024 年 4 月	BIE 事務局長訪日にあわせた意見交換
2024 年 4 月	BIE 執行委員会・情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）における進捗報告
2024 年 6 月	AIPH による開催3年前視察
2024 年 6 月	BIE 総会（フランス・パリ）における進捗報告
2024 年 8 月	BIE 事務局長訪日にあわせた意見交換
2024 年 9 月	AIPH 博覧会委員会（ポーランド・ワルシャワ）における進捗報告
2024 年 10 月	BIE 執行委員会・情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）における進捗報告
2024 年 11 月	BIE 総会（フランス・パリ）における進捗報告及び BIE 事務局長との意見交換
2024 年 12 月	BIE キャパシティビルディングプログラム（ペルー・リマ）における中南米諸国に対する PR
2025 年 2 月	AIPH 博覧会委員会（タイ・チェンライ）における進捗報告

(2) 会場整備

- ・会場整備の実施設計を行うとともに、上瀬谷整備事務所を開設し、会場整備工事に着手しました。
- ・屋内展示施設や飲食物販施設等の実施設計を行いました。
- ・横浜市の条例に基づき、環境影響評価書の作成など環境影響評価手続を計画的に実施しました。

(3) 植物監理

- ・植物監理・調達・維持管理に関する検討の深度化を行いました。
- ・開催に向け、植物調達パートナー等と連携し、植物の育成を開始しました。

(4) 運営管理

ア 会場運営全般

- ・来場者等の安全確保及び博覧会の円滑な運営を図るために必要な事項を協議し、計画の策定に資することを目的として、安全対策、医療救護及び会場衛生に係る各協議会を設置しました。
- ・会場を安全かつ円滑に運営し、来場者が安心・安全に過ごす環境を整えるため、警備、消防・防災、医療・救護及び会場衛生に関する基本計画の検討を行いました。
- ・満足度の高い来場者サービスを提供するための来場者サービス計画の検討を行いました。
- ・会場内の快適性と美観を維持するための会場内清掃・廃棄物管理基本計画の検討を行いました。

イ ICT 関係

- ・効率的なサイバーセキュリティ対策のための業務検討及び有識者協議会の開催準備を行いました。
- ・会場内の安定した通信環境構築のための基本設計を実施しました。

ウ 入場券販売システム

- ・入場券販売システム及び入場券の適切な価格・券種の検討を行うとともに、多様な販売チャネルの開拓から実際の販売までを担う入場券販売管理センターの開設準備を行いました。

エ 物流関係

- ・会場までの貨物輸送と会場内での物流業務を円滑に運営するための物流基本計画を策定しました。

(5) 展示・出展

ア 主催者展示

- ・テーマ館展示及び園芸文化館展示の実施設計を行いました。
- ・Village やゾーンの修景と一体的に行う展示の実施設計を行いました。

イ 政府出展

- ・国土交通省より屋外展示の出展準備に係る業務を受託し、実施設計を行いました。

ウ 一般参加者出展

- ・花・緑出展について、自治体や企業・団体等に対し公募を行い、自治体において73件、企業・団体・個人において287件の内定を公表しました。また、出展内定者向け説明会を開催し、出展に向けた手続等を進めました。
- ・Village 出展について、企業・団体に対し公募を行い、13件の内定を公表しました。また、出展内定者向け説明会を開催し、出展に向けた手続等を進めました。
- ・テーマ営業出店について、企業・団体に対して公募を行い、4件の内定を公表しました。また、出店内定者向け説明会を開催し、出店に向けた手続等を進めました。
- ・一般営業出店について、出店を募るための営業実施計画を策定するとともに、参加の勧奨に向けた準備を行いました。
- ・協賛について、制度設計を行い、プロジェクト協賛と一般協賛の公募を開始しました。魅力的な博覧会の実現のために、協賛の勧奨等を行いました。

エ コンペティション

- ・AIPH 規則に則りコンペティション規則の策定に向けた検討を進めました。

(6) 行催事

- ・多様な参加の促進のために、行催事実施計画及び催事管理センター運営実施計画の策定を行いました。
- ・魅力的な博覧会の実現のために、行催事の参加勧奨に向けた準備を行いました。

(7) 輸送対策

- ・輸送の基本的な考え方を示した来場者輸送基本計画をもとに、周辺道路における交通シミュレーションやシャトルバスの運行計画など具体的な検討・調整を行い、来場者輸送実施計画の策定に向けた検討を行いました。

(8) 持続可能性に向けた取組

- ・サステナビリティ戦略等に基づく事業の推進・検討を行い、持続可能性に配慮した調達を行うため、調達コードの運用を行いました。
- ・持続可能性有識者委員会での審議等を踏まえ、サステナビリティ教育計画、サステナビリティ コミュニケーション・エンゲージメント計画及び資源循環の考え方を策定しました。
- ・障がい当事者や学識経験者の皆様に参画いただいた検討会での検討を踏まえ、2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドラインを策定しました。

III 事務局体制の整備・強化と健全な財務運営

(1) 事務局体制の整備・強化

- ・事務局体制の整備・強化や、国・経済界・自治体から業務に応じた多様な人材の確保、効率的な事務局体制とするため組織体制の見直しを行いました。

(2) ガバナンス機能の強化

- ・継続的なコンプライアンスの推進に向け、外部の有識者を加えたコンプライアンス委員会を定期的を開催しました。
- ・入札・契約における適正な競争環境や適切な履行の確保を図りました。

(3) 効果的・効率的な予算の管理・執行

- ・資金計画に基づく資金調達及び予算管理を行いました。
- ・予算執行段階における事業実施方法の検証及びコスト削減を行いました。
- ・会場建設費の変更に当たり、関係機関へ要請を行いました。

(4) 財務基盤の強化に向けた資金調達

- ・寄附金の募集・拡充に向けた取組を進めました。
- ・補助金等の各種資金の確保に向けた調整を図りました。

IV 社員総会・理事会の開催

(1) 社員総会

ア 第9回（定時）社員総会（2024年6月19日）

(ア) 開催場所

東京商工会議所 5階 渋谷ホール（東京都千代田区丸の内3-2-2）
（web会議システムの併用による会議）

(イ) 決議事項

- ・理事の再任について
- ・2023年度決算について

(ウ) 報告事項

- ・2023年度事業報告について
- ・2024年度事業計画及び予算について

(エ) 出席等

全議決権数 10 団体、出席社員数 10 団体、出席理事数 20 名、
出席監事数 2 名

イ 第10回（臨時）社員総会（2024年12月4日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・理事の選任について

(ウ) 出席等

提案事項につき、社員の全てから書面により同意の意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなされた。

ウ 第 11 回（臨時）社員総会（2025 年 1 月 20 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 理事の選任
- ・ 常勤理事の報酬の額

(ウ) 出席等

提案事項につき、社員の全てから書面により同意の意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなされた。

(2) 理事会

ア 第 17 回理事会（2024 年 6 月 5 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 2023 年度事業報告について
- ・ 2023 年度決算について
- ・ 常勤理事の報酬の額について
- ・ 財務委員会の委員の選任について
- ・ 理事の利益相反取引の承認について
- ・ 第 9 回（定時）社員総会の開催について

(ウ) 報告事項

- ・ 2023 年度内部監査結果について
- ・ 特定寄附金及び指定寄附金に関する指定期間の延長について
- ・ 理事の利益相反取引の報告について

(エ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

イ 第 18 回理事会（2024 年 6 月 19 日）

(ア) 開催場所

東京商工会議所 5 階 渋沢ホール（東京都千代田区丸の内 3-2-2）
（web 会議システムの併用による会議）

(イ) 決議事項

- ・ 事務総長及び事務次長の選定について

(ウ) 報告事項

- ・ 政府委員の就任について
- ・ GREEN×EXP0 2027 の進捗状況について
- ・ 2024 年度の理事会総会等の予定について

(エ) 出席等

議決権のある総理事数 24 名、出席理事数 20 名、出席監事数 2 名

ウ 第 19 回理事会（2024 年 9 月 9 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 財務委員会の委員の選任について
- ・ 理事の利益相反取引の承認について

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

エ 第 20 回理事会（2024 年 11 月 27 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 第 10 回社員総会の開催について

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

オ 第 21 回理事会（2024 年 12 月 4 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 事務次長（業務執行理事）の選定について
- ・ 会長職を代行する事務総長及び事務次長の順序について
- ・ 事務次長の職務権限規程の改正について
- ・ 理事の利益相反取引の承認について

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

カ 第 22 回理事会（2024 年 12 月 23 日）

(ア) 開催場所

東京商工会議所 5 階 RoomA1+A2（東京都千代田区丸の内 3-2-2）
（web 会議システムの併用による会議）

(イ) 報告事項

- ・ GREEN×EXPO 2027 の進捗状況
- ・ GREEN×EXPO 2027 会場予定地等の視察報告

(ウ) 出席等

議決権のある総理事数 24 名、出席理事数 19 名、出席監事数 2 名

キ 第 23 回理事会（2025 年 1 月 13 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 第 11 回社員総会の開催

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

ク 第 24 回理事会（2025 年 1 月 20 日）

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 常勤理事の報酬の額
- ・ 事務次長（業務執行理事）の選定
- ・ 代表理事及び会長の代行順位
- ・ 事務次長の職務権限規程の改正

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

ケ 第 25 回理事会（2025 年 3 月 21 日）

（ア）開催場所

日経カンファレンスルーム

（東京都千代田区大手町 1－3－7 日経ビル 6 階）

（web 会議システムの併用による会議）

（イ）決議事項

- ・ 2025 年度 事業計画及び収支予算
- ・ 役員賠償責任保険
- ・ 財務委員会の委員の選任
- ・ 事務次長の職務権限規程の改正
- ・ 理事の利益相反取引の承認

（ウ）報告事項

- ・ 会場建設費の変更
- ・ 公式参加者の招請活動
- ・ 広報・機運醸成の取組

（エ）出席等

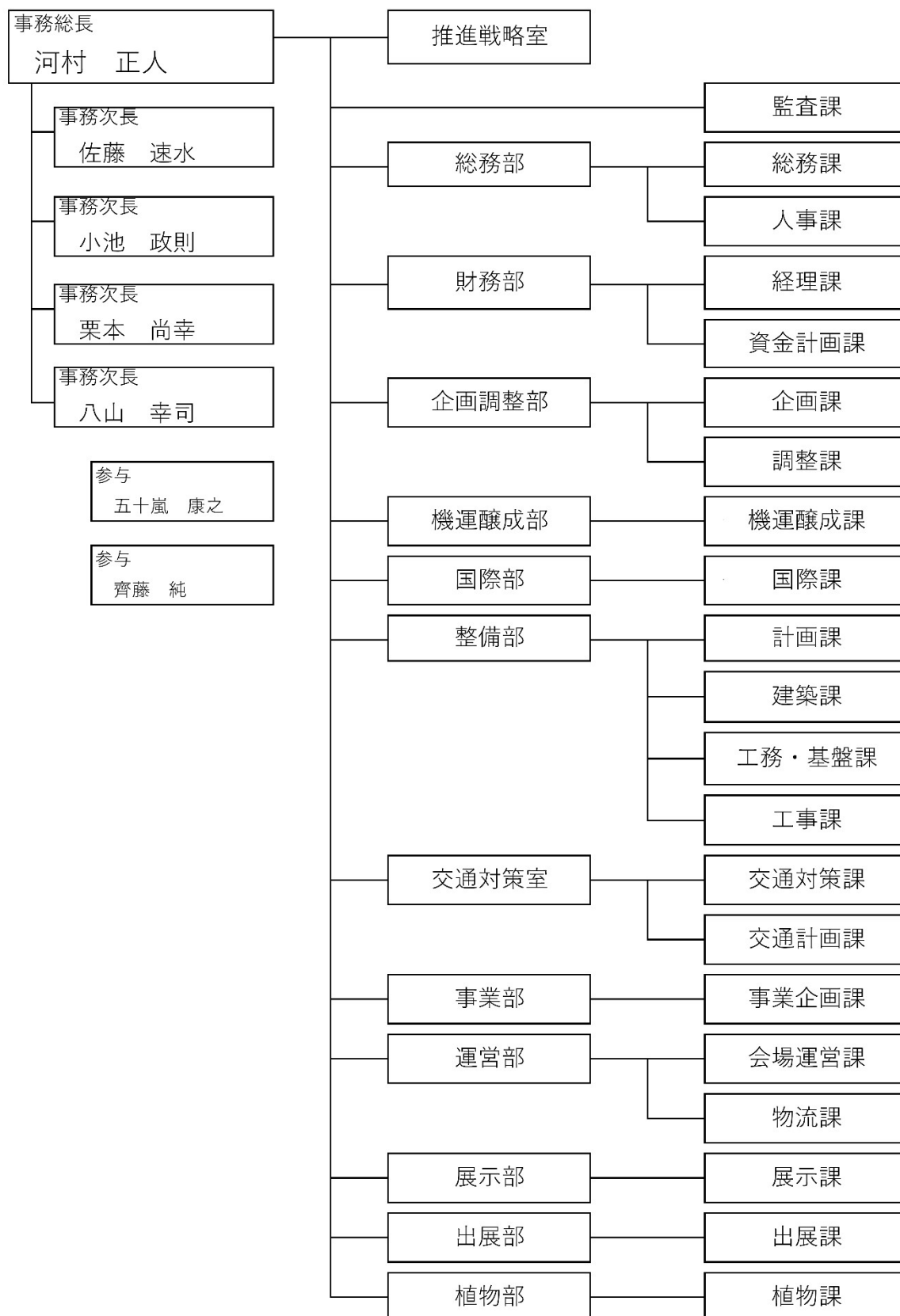
議決権のある総理事数 25 名、出席理事数 17 名、出席監事数 2 名

V 事務局体制【人事課】

事務局組織図（2025 年 1 月 20 日時点）

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

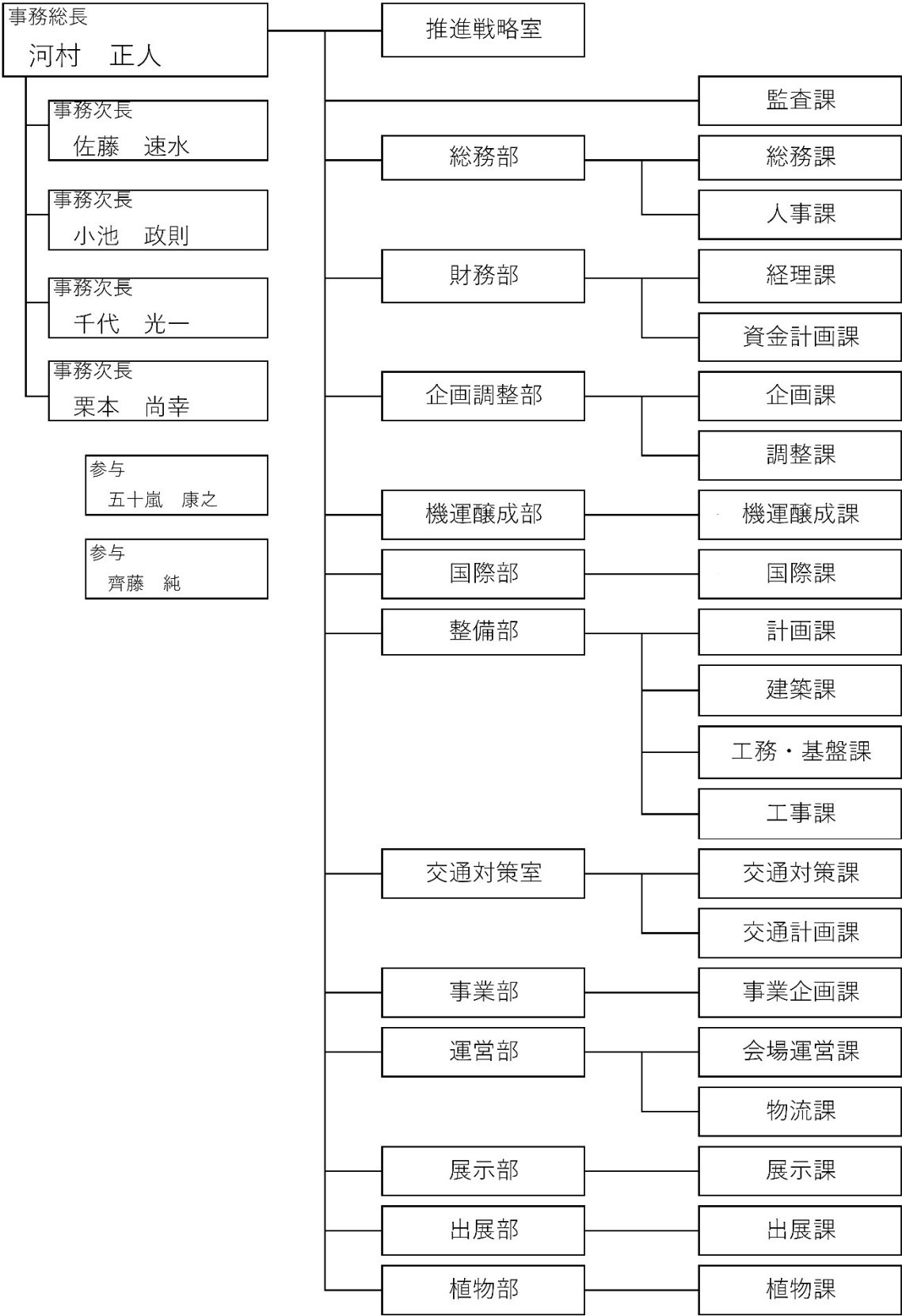
2025年1月20日現在



事務局組織図（2025 年 1 月時点）

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

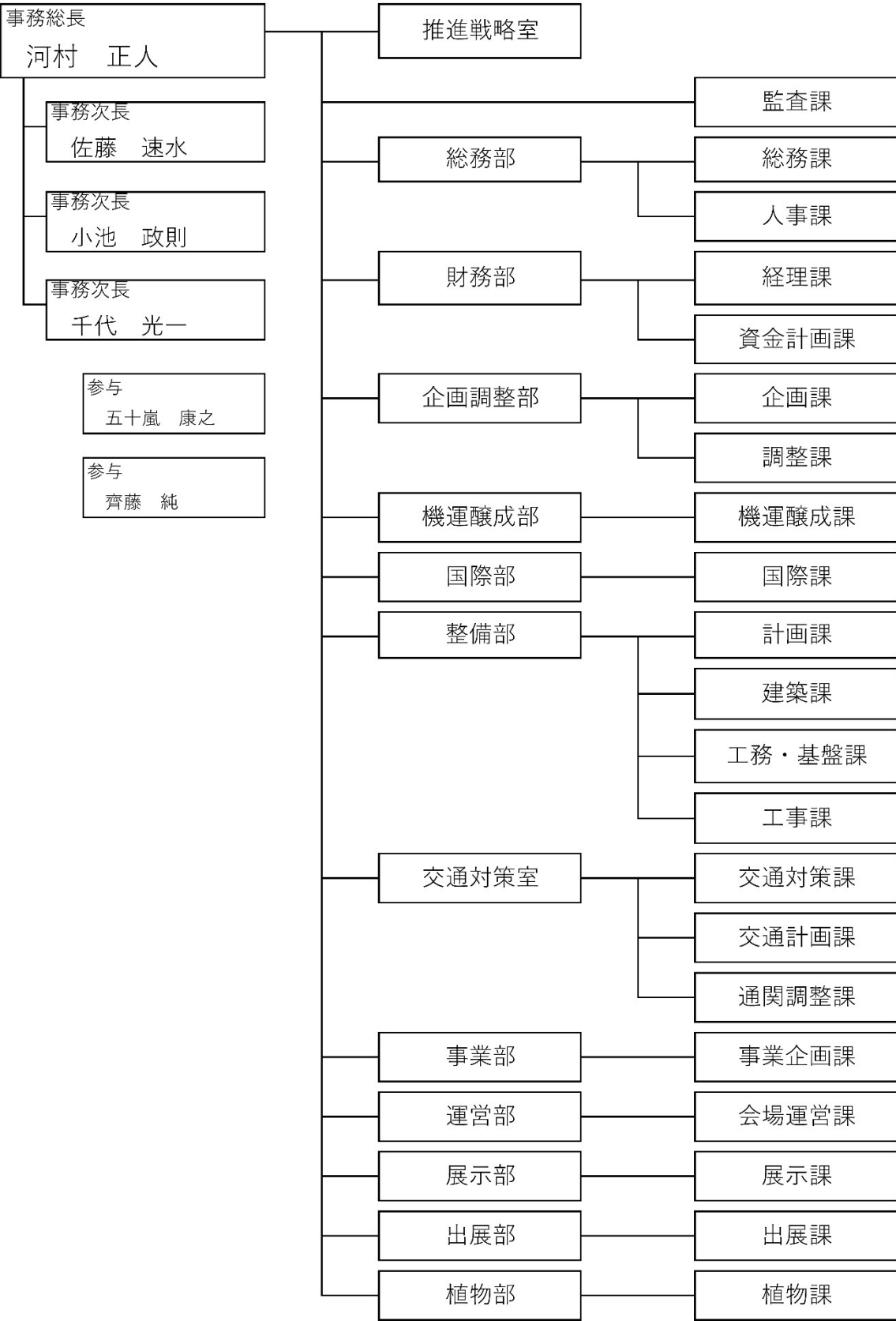
2025年1月現在



事務局組織図（2024 年 9 月時点）

公益社団法人 2 0 2 7 年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

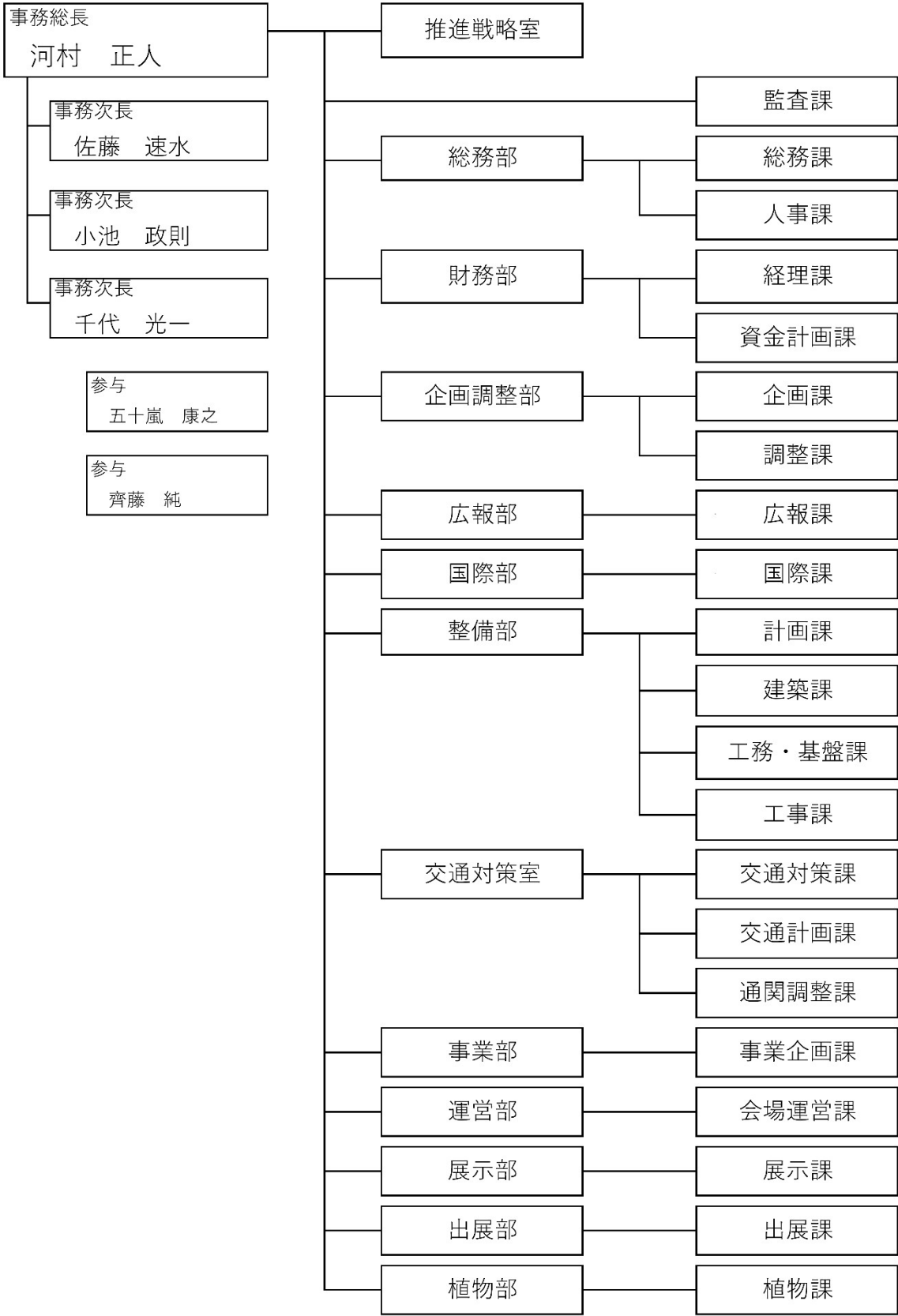
2024年9月現在



事務局組織図（2024 年 7 月時点）

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

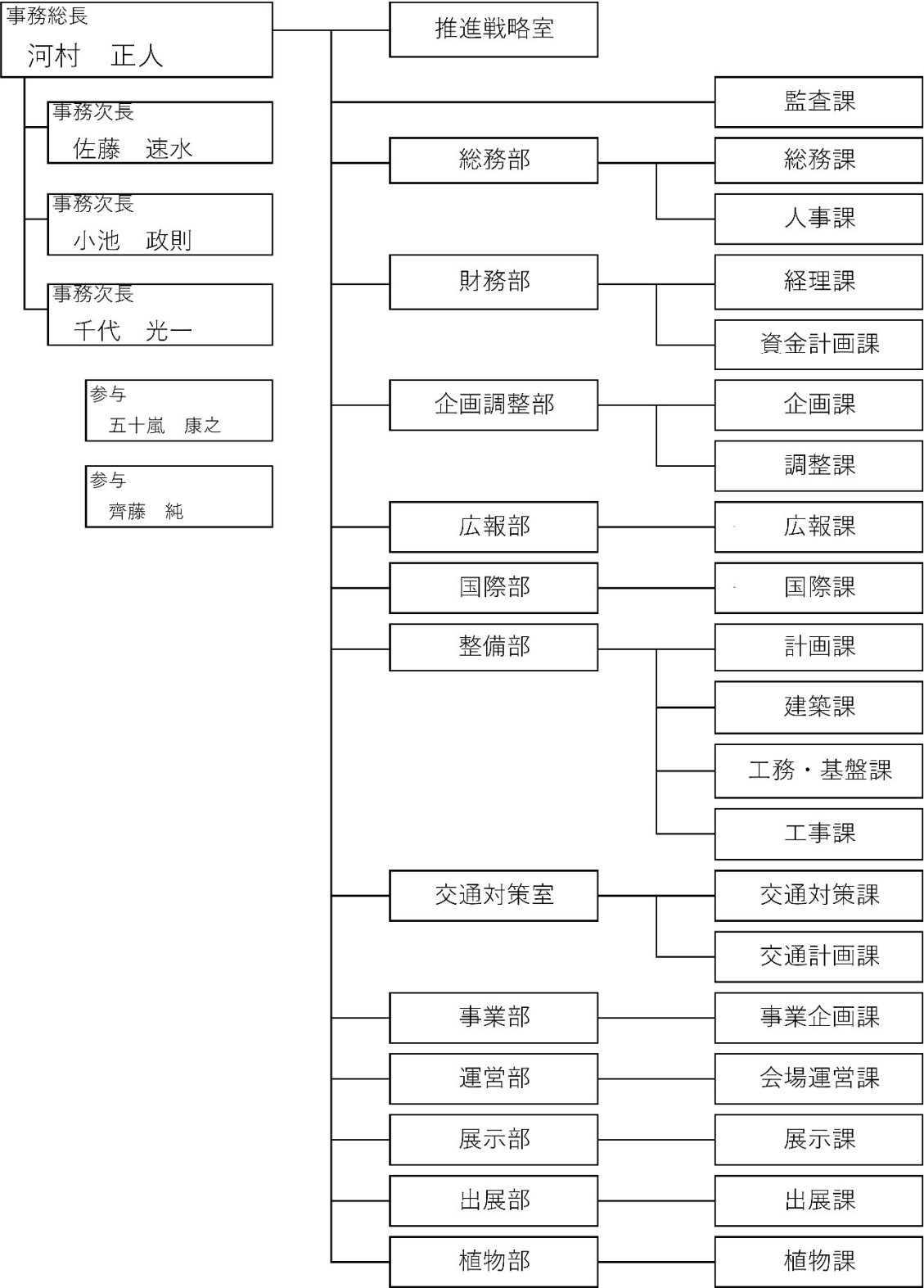
2024年7月現在



事務局組織図（2024 年 4 月時点）

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

2024年4月現在



事業報告書の附属明細書

2024 年度事業報告（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」として記載すべきことはない。